



R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

会長: 納所 佳民 幹事: 指山 立
事務所: 佐世保市島瀬町10-12 十八親和銀行 佐世保本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会場: レオプラザホテル佐世保 (毎週水曜日) TEL 0956-22-4141
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail: src@circus.ocn.ne.jp

令和 8 年 9 月 2 日

第 3,633 回例会

NO 9

《本日》会員数 81 名 (出席規定免除 19 名)・出席 56 名・欠席 25 名・(内免除者欠席 10 名)・ビジター 0 名・ゲスト 1 名・出席率 69.14 %
《8月19日》会員数 81 名 (出席規定免除 19 名)・出席 51 名・欠席 30 名・(内免除者欠席 10 名)・メイクアップ 3 名・修正出席率 76.06 %

会長挨拶

会長 納所 佳民

皆さん、こんにちは。本日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。

暑い8月も終わり9月に入りました。皆さん、夏バテになっていませんか？

9月に入ったとはいえ、まだまだ残暑は続きそうです。8月も九州地方は降雨が少なく、当地の佐世保では水源地の貯水量が8月末時点で75.5%という状況になっています。今後も雨が降らない状況が続けば、さらに厳しい状況を迎えることも考えられます。私たち一人ひとりが、日常生活の中で改めて節水を心がけていく必要があるのではないのでしょうか。

昨日、9月1日は「防災の日」でした。

先日8月26日、ネパール中部と中国の国境付近で、大規模な洪水と土石流が発生しました。

9月1日時点の報道では、両国で1084人の死亡が確認され、およそ5,000人を超える方々が行方不明となっています。また、日本人5人を含む多くの外国人の安否も確認されておらず、ネパール政府の最新の暫定報告では、洪水の影響を受けた人は約160万人に上るとされています。

犠牲になられた方々に、心から哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。



日本でも、8月27日に石川県と富山県で線状降水帯が発生し、わずか半日で300ミリを超える記録的な豪雨となりました。河川の氾濫や土砂崩れ、住宅の浸水が相次ぎ、一時は38万人以上に避難が呼びかけられました。

富山県では、住宅被害が623件に上り、氷見市では27世帯49人の孤立が続きました。また、石川県では道路の寸断などにより、延べ243世帯が孤立しました。8月30日の時点でも、石川・富山両県で70人以上の方々が避難所での生活を余儀なくされています。近年の災害を見ていますと、地球温暖化の影響などにより、今までに無い災害が発生をしています。線状降水帯もその内の一つではないのでしょうか。

災害は「いつか起きるもの」ではなく、「いつ、どこで起きてもおかしくないもの」になっています。

平時より自宅や職場のハザードマップの確認が必要です。また、災害の発生に備え、避難場所と避難経路を家族や社員と共有を行い、水や食料、常備薬、懐中電灯、携帯電話の充電器などを備えておく必要があります。そして、危険を感じたら、ためらわず早めに避難することです。

「まだ大丈夫だろう」という思い込みが、避難の遅れにつながります。空振りを恐れるよりも、命を守ることを最優先にしなければなりません。

そして、発生から約1か月が経過した熊本地震では、現在も約2500人の方々が避難所

での生活を強いられておられます。

被災された方々が、いつ普通の生活に戻ることが出来るのかという事も大きな問題です。

わが街佐世保は、海上自衛隊、陸上自衛隊、そして米海軍佐世保基地を抱えており、まさに「日本の西の防人」のまちです。

8月30日には、海上自衛隊のイージス艦「ちょうかい」が、約1年間の米国派遣を終えて、母港である佐世保基地に帰港しました。

「ちょうかい」は、海上自衛隊の艦艇として初めて巡航ミサイル「トマホーク」の発射能力を獲得しました。7月には実射試験にも成功し、我が国のスタンド・オフ防衛能力を担う、最初の艦となりました。

国を守る「防衛」も、災害から命を守る「防災」も、その根底にあるのは「平時からの備え」です。

備えとは、不安をあおることではありません。万一のときに、冷静に行動し、大切な命を守るための準備です。

防災の日を機に、家庭、職場、そして地域での備えをもう一度確認し、自分自身と家族、社員、そして地域の命を守る行動につなげていきたいと思います。

本日も、どうぞよろしくお願いいたします。

例会記録

- 国歌「君が代」
- ロータリーソング「それでこそロータリー」

幹事報告

幹事 指山 立

1. 国際ロータリー日本事務局

会員増強・体験推進室

【RI日本事務局よりご依頼】

奉仕プロジェクトセンターについて

RotarySupportCenter@rotary.orgへ日本語でご質問いただけます。

(2)

2. 国際ロータリー日本事務局 財団室

国際ロータリー第2740地区

2026-27年度ガバナー事務所

「財団室NEWS 9月号」

https://msgfocus.rotary.org/files/amf_highroad_solution/user_2779/202609_TRF_News.pdf

3. 佐世保南ロータリークラブ

幹事 曾和 英徳 さん

例会変更のお知らせ

4. 佐世保西ロータリークラブ

幹事 長濱 かおり さん

9月例会変更のお知らせ

5. 佐世保北ロータリークラブ

幹事 内海 一洋 さん

例会変更のお知らせ

6. 佐世保東南ロータリークラブ

幹事 服部 洋也 さん

例会休会のお知らせ

7. 松浦ロータリークラブ

幹事 和田 大介 さん

休会のお知らせ

慶 祝

親睦活動委員会 委員長 長島正太郎

○誕生記念月のお祝い

北浦宗一郎 さん (2日)

米倉洋一郎 さん (6日)

田中丸善保 さん (19日)



歌 の 時 間

ソングリーダー 中村 徳裕
キーボード 大津 由紀

「故郷（ふるさと）」

作詞：高野辰之
作曲：岡野貞一

本日の例会ソングは、誰もが一度は耳にしたことがある文部省唱歌「故郷（ふるさと）」です。この曲が生まれたのは、今から110年以上前の大正3年のことです。作詞は長野県出身の高野辰之（たかのたつゆき）さん、作曲は鳥取県出身の岡野貞一（おかのていいち）さん。このお二人は、日本の美しい風景や人の温かさを数々の歌として残してくださった黄金コンビです。

作詞の高野さんは、東京で忙しく過ごしながらも、いつも心にあった地元・長野の豊かな山や川を思い浮かべてこの詩を書いたと言われています。歌詞にある「志を果たして いつの日にか帰らん」というフレーズには、ただ故郷を懐かしむだけでなく、「自分の場所ですっかりがんばって、いつか胸を張って恩返しをしたい」という前向きな思いが込められています。

私たちが日々行っているロータリーの活動も、この街や地域という「ふるさと」への温かい思い、そして仲間との絆が原動力になっていると思います。今日こうして皆様と顔を合わせられる喜びに感謝しながら、それぞれの心にある大切な「故郷」を思い浮かべて、優しく歌い上げられたらと思います。それでは、みなさま、前奏につづいてお歌いください。



ニコニコボックス

親睦活動委員会 山下 達也

納所 佳民 会長、指山 立 幹事
境 竜馬 副幹事、安福 竜介 さん
本岡 眞 さん、稲吉 修 さん
川原 譲 さん、中島 顕 さん
藤井 鉄平 さん、古賀 巖 さん
出端 隆治 さん、坂本 敏 さん
坂元 崇 さん、北浦宗一郎 さん
橘高 克和 さん、芹野 隆英 さん
大神 吉史 さん、福田 金吾 さん
池田 真秀 さん、安達 幸太 さん
廣瀬 章博 さん、山口 健二 さん
内海 暢邦 さん、中村 徳裕 さん
福田 金治 さん、増本 一也 さん
安部 雅隆 さん、山下 達也 さん
山縣 千穂 さん

佐世保市役所基地政策局局長堀居隆二様の卓話に期待をしてニコニコします。

北浦宗一郎 さん、米倉洋一郎 さん
田中丸善保 さん

誕生記念月のお祝いをしていただき、ありがとうございます。

ニコニコボックス	前回累計	327,000円
	本日合計	32,000円
	累 計	359,000円

卓 話

「佐世保の基地政策」

佐世保市役所 基地政策局
局長 堀居 隆二 様

佐世保は米軍基地や自衛隊、クルーズ船など多様な船が行き交う港町です。近年の厳しく複雑な安全保障環境において、尖閣諸島や台湾、韓国、北朝鮮、中国、シーレーンなどを半径約1,000キロ圏内に収める佐世保の地政学的重要性は一層高まっています。



現在、佐世保には約5,400名の海上自衛隊員や陸上自衛隊水陸機動団2,100名、そして米海軍基地が存在し、地域経済にも大きな影響を与えています。一方で、佐世保港の海域の約8割が制限水域となっており、漁業をはじめ市民生活や経済活動への負担を軽減する基地問題は長年の課題です。

一方で佐世保市では、従来の負担軽減を求める「基地対策」から、令和4年に佐世保市基地政策方針を策定し基地の所在を前向きに地域発展へつなげる「基地政策」を打ち出しています。

■基地政策の最重要課題（1）「前畑弾薬庫の移転・返還」

約50年前からの長年の懸案だった移転問題でしたが、2025年8月に針尾島弾薬集積所への施設配置案で日米合意に至りました。今後、環境アセスメントや埋め立てなどに約20年を要する見通しですが、返還される

前畑弾薬庫の約58ヘクタールの広大な跡地は、将来の佐世保の新たなまちづくりに向けた極めて重要な拠点となります。

■基地政策の最重要課題（2）「自衛隊による崎辺地区の利活用」

大型護衛艦などが接岸できる岸壁を整備し、隣接する水陸機動団との連携を強めます。併せて天神地区の渋滞を緩和する前畑崎辺道路の整備も進めており、いずれも令和11年の完成を目指しています。

■基地政策の最重要課題（3）「原子力艦船の佐世保寄港」

佐世保は横須賀、ホワイトビーチと共に国内で原子力艦船が寄港する3つの港の1つとなっています。そのため、万が一の放射能漏れを想定した避難訓練の実施など、外務省を通じて米軍への参加を含めた働きかけ、安全対策を継続して求めています。

2026年3月、基地を活かした経済活性化策として、「佐世保市基地経済ビジョン」を策定しました。主な柱は4点あります。

第1に「自衛隊艦船の修繕態勢の強化」です。地元造船業と連携し、修繕需要の取り込みや人材育成を行政としても支援してまいります。

第2に「米海軍艦船の修繕受注」です。米本国に戻らず日本周辺で修繕を行う枠組みDICAS（日米防衛産業協力協議）の議論が進む中、商習慣や英語の壁といった参入障壁をクリアしながら受注拡大を目指します。

第3に「新たな防衛産業の取り込み」です。無人機など艦船以外の防衛装備品の整備やメンテナンスといった新たな需要を地域に取り込む等、佐世保として国策に貢献しながら経済を発展できる新たな道を模索しています。

第4に「日本一自衛隊を応援するまち」です。これは市長がいま先頭に立って取り組んでいます。5月に行った市内の協力団体様

との会議でのご提案を含め、佐世保市民の熱意を形にして、関係団体と連携しながら具体的な事業を組み立てていきたいと考えています。

佐世保は基地のまちです。基地の負担に向き合いながらも、そのポテンシャルを活かして経済活性化へつなげるため、皆様のご関心と応援をよろしくお願いいたします。



【今週のランチ】



* 今後の例会予定 *

- 9月 9日 朝永春郎ガバナー補佐訪問例会
(クラブ協議会)
16日 中島健太郎ガバナー公式訪問例会
23日 祝日休会 (秋分の日)
30日 観月例会 (夜例会)

* 西海学園高等学校インターアクトクラブ例会予定 * 未定

* 長崎国際大学ローターアクトクラブ例会予定 *

日時／9月15日(火) 18:30
会場／佐世保ワシントンホテル

* 西海学園IAC、長崎国際大学RACにご出席されますと、メイクアップにもなりますのでご活用ください。
* RACへご出席される方はお食事の要・不要の確認をいたしますので、事務局までお知らせください。

(今週の担当：安福 竜介 カメラ担当：藤井 鉄平)

クラブ会報委員会

委員長：安達 幸太
副委員長：今吉 俊博

委員：安福 竜介・川口 直人
藤井 鉄平・林 健児